

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2008年11月21日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2008000037"/> 整理番号 <input type="text" value="11279"/> 担当者 <input type="text" value="峯崎 隆司"/>
表 題	<input type="text" value="表面特性を制御したポリオレフィン系複合体とその調製方法"/>
技術分野	<input type="text" value="有機材料"/>
適用製品	<input type="text" value="医療材料, ポリオレフィン系材料, 医療材料"/>
目 的	<input type="text" value="新しい調製方法により成型加工済みのポリオレフィンの効果的な改質および表面修飾法を提供する。"/>
技術概要	<p>本発明は、超臨界二酸化炭素を用いて作成したポリオレフィン複合体を表面修飾することで、その機械特性と表面特性が制御可能な方法である。超臨界二酸化炭素に溶解した酢酸ビニルと開始剤をポリオレフィン基板内部に浸透・拡散させた状態で重合することでポリ酢酸ビニルを分子分散したポリオレフィン複合体を調製し、複合体表面に存在するポリ酢酸ビニルの側鎖アセチル基を加水分解することにより容易に水酸基表面を有するポリオレフィン複合体が調製できる。酢酸ビニルと異種モノマーを共重合することで、得られる複合体の機械特性の制御が可能である。この水酸基を反応点とし、生体親和性表面や超撥水性表面など機能性表面を構築することが可能である。</p> <p>また、本発明は従来のプラズマ処理など平板サンプルにしか適用できなかった方法とは異なり、成型加工済みのポリオレフィン材料の改質および表面修飾に適した方法である。(内径300μm, 長さ5.0mの高アスペクト比を有するポリエチレンチューブの均一な改質及び表面修飾に成功)</p>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp